

外部評価に関するアンケート 集計結果

■ アンケート実施日及び回収数

平成 27 年 9 月 25 日（金） 6 枚（6 人傍聴）

平成 27 年 9 月 27 日（日） 6 枚（6 人傍聴）

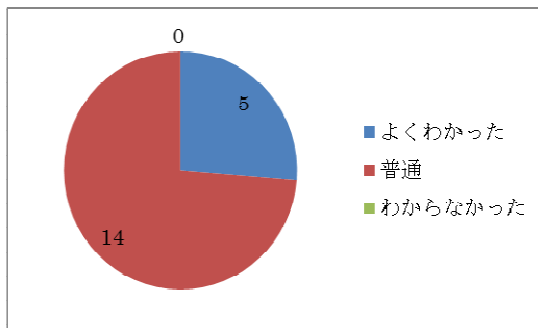
平成 27 年 9 月 28 日（月） 5 枚（7 人傍聴）

平成 27 年 9 月 30 日（水） 5 枚（5 人傍聴）

延 22 枚/24 人（91.7%）

■ アンケート結果

1 職員の説明についてどう思われましたか？



【個別意見】

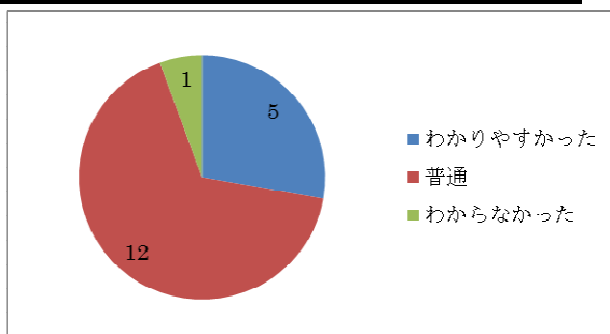
（よくわかった）

- ・説明はよく理解できた。（資料に測っている。話すスピード）
- ・話し方（スピード、声の大きさ）は資料に沿って進められた点。
- ・委員の全体的な説明が判りやすかった。（課題やテーマ）

（普通）

- ・視野の狭い説明が多いと感じた。多面的に捉えていくことが必要であり、事業の立案にかかるべきであると思う。
- ・全体説明が判りづらい。
- ・全体的で網羅的になっていた。
- ・一部質問に答えていない所があった。

2 配布資料についてどう思われましたか？



【個別意見】

(わかりやすかった)

- ・判りやすい資料でした。

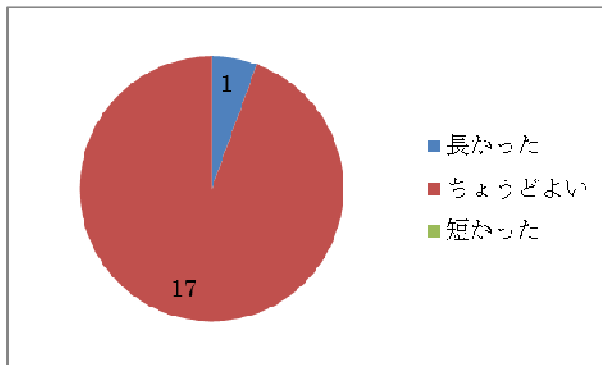
(普通)

- ・できる限り定量的に表現してほしい。
- ・図、グラフを使用したらどうでしょう！
- ・もっとカラーページを増やして。強調したいポイントは、フォントの変化やアンダーラインを。

(わからなかった)

- ・評価についての理由。

3 時間配分についてどう思われましたか？



【個別意見】

(長かった)

- ・目標数値、設定根拠の話が長かった。
- ・補助資料を活用して、簡単に判りやすく。

(ちょうどよい)

- ・パワーポイントの説明時間はよかった。

4 個別の事業について感想・意見をお聞かせください。

(1) 「長久手給食食材生産会」の運営支援（産業課）

- ・なぜ役所がする事業なのか？なぜ役所がする必要があるのか？
- ・食材生産会としてうまくまわっていただければよいが。今後全体の問題として65歳以上の農業の生産者の問題が心配されるが、高齢者社会が同時に進行していくため、経験が生かされる方向にあるとよい。
- ・運営支援は継続。①会員数の増加を図る。数値目標を定める。現会員の育成（教育）。②農産物の保管（市による低温保管設備の提供）。
- ・事業推進のポイントが何か？生産会に対する動機づけのポイントは何か？プロセスがもっと説明されると良いと思います。

- ・目標レベルに集中した話になったのは、よく数値化されていたからと思います。
- ・方針に対する評価の視点がずれている様に思われる。田園バレー事業が縮小されていくなか、「農」を中心に据えた事業を真剣に捉えているとは感じられなかった。遊休農地の今後の増加を見据えた方策を考えていくべきであると思う。

(2) 共用車・バス・安全運転管理（財政課）

- ・市の事業用バスがもう一台必要。バスの取り合いが起きている。（業者委託でも可）。
- ・安全運転に関する教育はどこで行っている？死亡事故が起きた時の対応窓口？
- ・安全運転管理については何も分からない。車両運転管理が安全運転管理ではない。委員の指摘に対して反応が弱いと感じた。

(3) 内部監査事業（監査委員事務局）

- ・特に問題は無いのでは。決められた事は確実に実施されているようである。
- ・30課の事業の行政監査に進捗管理（月次）を導入してはどうか？予算実績見込で事業監査しては？
- ・説明に熱意は感じます。
- ・まだ始まったばかりで、今後の参考意見だと感じた。
- ・成果目標、「成果実績－評価」の内容検討。委員からの意見との差。「市民感覚」（委員）に同意。

(4) 道路維持管理業務（土木課）

- ・特に問題は無いようだ。今後街路樹の増加、生長が予想されるので、剪定費用の増加が予想される。他の項目費用の減額につながらねば良いが。
- ・維持管理として捉えると評価が難しい。満足度評価、定量的な評価基準が必要かな？
- ・同じ道路でも重量車回数の頻度や通過回数の多い道路は道路の傷みが早いらしい、修繕回数が多いと感じた。

(5) 広報活動事業（消防本部予防課）

- ・別の意見として、全戸数世帯に安い掛け捨て型の火災保険を加入する方法もあるが、補償内容にもよるが最低限の確保が必要と思う。
- ・広報活動に関しては、異常高温、乾燥注意報発生、危険事態など、緊迫が迫っているような事態における活動を望む。

- ・広報の媒体について考えていくことが必要であろうと思われる。
- ・テーマが広がりすぎたと思います。消防全体から火災予防まで話が広がった。育成事業等、全体の説明が返って×だったのか？
- ・やはり火災の発生件数を指標とすべき。火災予防の広報がどれほどの効果につながったのかを数値化。他セクションも同じ様な事をしていても、成果は本部とすべき！

(6) 健康づくり推進事業（健康推進課）

- ・市役所からの案内で教室に参加しました。
- ・一步一步、外部評価により事業改善に進めればと感じた。
- ・「健康づくり」とはどういう意味ですか。分かりません。「体力」、「精神的健康」を維持するためのものと考えれば大変良いことです。愛知医大や他部署と協力して、単発に終わらない事業にしていくべきではないでしょうか。会場も複数確保していきたいものです。
- ・高齢者の居場所づくり（寄り合い場）も大切ではないでしょうか。
- ・講座開催日には N-バス臨時便が用意されたら良い。いずれにしても、参加しやすい条件をもっと整備する。
- ・医療費（国保）は低減したのかな？
- ・講座の有料化の検討も必要かな？

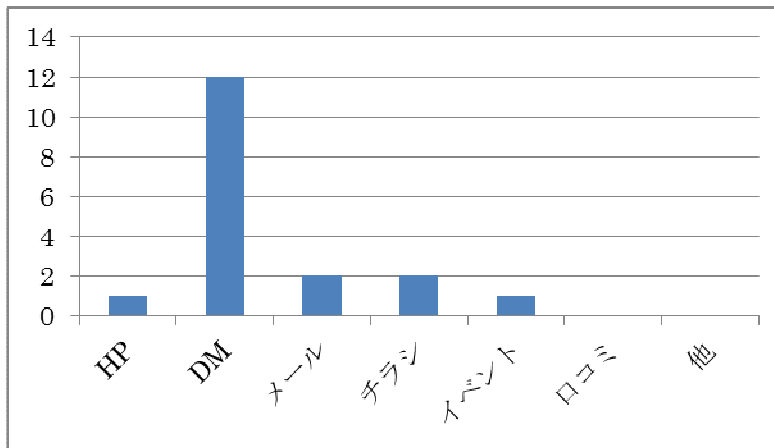
(7) 市表彰条例による表彰事業（政策秘書課）

- ・指標設定の理由がよくわからない。
- ・事業の是非を問うことが必要なのかどうか。これをするかどうかは行政判断であり、外部評価の対象かどうか。
- ・古くからの規定、新しい規定、その都度の規定、定めに基づき変化していくと感じた。新しい規定をどんどん取り入れていく様な方向へと感じた。

(8) 適応指導教室事務（教育総務課）

- ・南中校区や西小校区にも施設は必要である。通級したくても遠いことが障害になっていると思われる。
- ・指標は別のものに変えるべきであろう。
- ・障がいのある児童生徒への対応について、具体的な内容を聞いたかった。
- ・子どもたちが学校のことで悩んだときに、Nハウスあいに電話相談ができるようにしてほしいと思いました。学校から配られる悩みダイヤル？にかけている子が結構多いと伺っています。
- ・大変な現場だと思いますが、もっと活用できる場所にしていただきたいです。

5 今日の外部評価を何でお知りになりましたか？（複数回答）

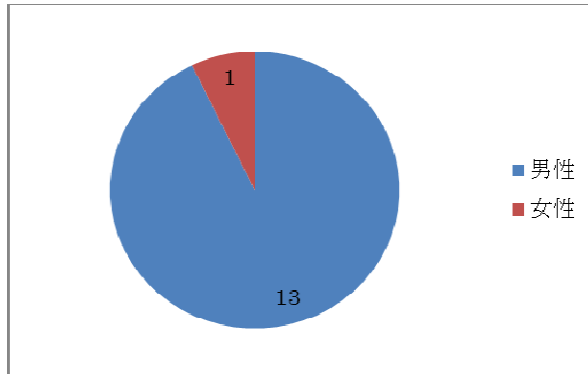


6 全体を通してお気づきになったこと、感想をお聞かせください。

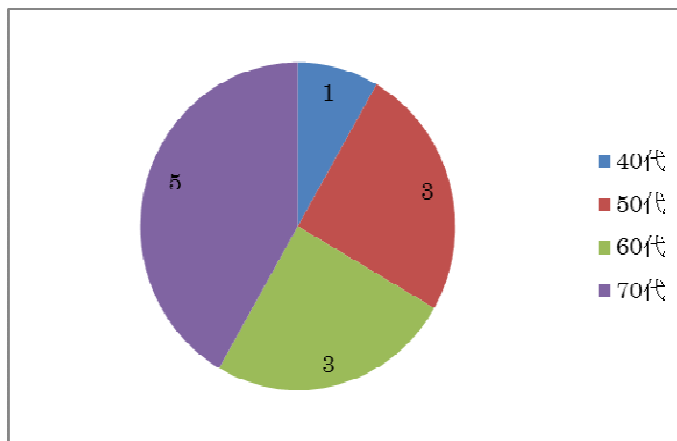
- ・委員の資料の読み込みが不足している。事前に読んでいるのかどうか。その場で渡されて評価するという事は、かなり困難である。
- ・事業評価は良い事と思います。
- ・今後、何をを目指しているか？を知りたくて参加しました。ありがとうございます。
- ・まだ始まったばかりで、今後の参考意見だと思う。
- ・対象者が限定されているので、より多くの人に参加することを検討する必要がある。
- ・一步一步、外部評価により事業改善に進めればと感じた。
- ・安易にアンケートに頼る発言が多く、自己中心的な考え方ではないかと感じた。
- ・委員の意識の違いが大きく、目標を失いがちであった。
- ・外部委員の思い込みが感じられた！
- ・判りやすく説明する努力、誤解されやすい点を予見して説明することも可能です。
- ・予算が乏しいのか？人員不足で手一杯なのか？事業規模が小さい！
- ・いろんな視点、さまざまところで行政チェックをいれると良い。
- ・雰囲気柔らかく、委員の発言が多かった。大切なことであろう。
- ・発言を制限されて引いてしまう委員が見られたことは残念である。
- ・できる範囲内のことで進めることしかないと感じた。
- ・評価委員の職階が分からないが、かなり幅広い質問・意見（提案）があり、行政側だけの発想では気づかない部分への指摘も見られた。
- ・今後もこうした機会を多く設定し、より良い行政活動をしてほしい。

7 性別と年齢、住所を教えてください。

(1) 性別



(2) 年齢



(3) 住所

全て市内在住者。(N=12)